

福島第一原子力発電所の状況

2016年3月22日
東京電力株式会社

< 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (3/22 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	給水系：約2.4 m ³ /h	15.1	0.57 kPa g	A系： 0.00 vol%
		炉心スプレ系：約1.9 m ³ /h			B系： 0.00 vol%
2号機	淡水 注入中	給水系：約1.7 m ³ /h	20.3	4.01 kPa g	A系： 0.10 vol%
		炉心スプレ系：約2.5 m ³ /h			B系： 0.09 vol%
3号機	淡水 注入中	給水系：約2.1 m ³ /h	17.6	0.27 kPa g	A系： 0.06 vol%
		炉心スプレ系：約2.3 m ³ /h			B系： 0.07 vol%

< 2. 使用済燃料プール(SFP)の状況 > (3/22 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	SFP 水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	15.2
2号機	循環冷却システム	運転中	25.2
3号機	循環冷却システム	運転中	22.4
4号機	循環冷却システム	運転中	11.2

各号機 SFP および原子炉ウェルヘビドラジンの注入を適宜実施。

< 3. 水処理設備および貯蔵設備の状況 > (3/22 11:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)	多核種 除去設備 (ALPS)	増設多核種 除去設備	高性能多 核種 除去設備
運転 状況	停止中 ^{*1}	停止中 ^{*1}	水バランスを みて断続運転	水バランスを みて断続運転	ホット 試験中 ^{*2}	ホット 試験中 ^{*2}	ホット 試験中 ^{*2}

*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。 *2 高性能容器(HIC)交換等を適宜実施。

< 4. その他 >

- ・2014/6/2 ~ 陸側遮水壁工事を開始。
- ・2016/2/9 陸側遮水壁の凍結に必要な工事が完了。
- ・2015/5/27 ~ 構内で今後使用しないフランジボルト締めタイプのRO濃縮水貯槽の解体作業を開始
- ・2016/3/22 ~ 2号機炉内燃料デブリ位置把握に向けて、ミュオン透過法による測定を開始。

[1号機原子炉建屋カバー解体作業]

- ・2015/5/15 6:45 ~ 5/20 13:11 建屋カバー屋根パネルからの飛散防止剤の散布作業を実施。当該作業期間中において、ダストモニタおよびモニタリングポストの値に有意な変動なし。
- 7/17 7:06 ~ 7/21 9:10 建屋カバー屋根パネル貫通孔からの飛散防止剤の散布作業が終了。
- 7/28 建屋カバー屋根パネルの取り外し作業を開始。10/5 に全ての屋根パネルの取り外しが完了。

[サブドレン他水処理施設の状況]

- ・2015/9/3 サブドレン他水処理施設運用開始。
- 9/17 ~ 地下水のくみ上げを昼間のみの間欠運転から24時間連続運転に切り替え。

- ・一時貯水タンクFの当社および第三者機関による分析結果[採取日 3/12]は同等の値であり、共に運用目標値を満足していることを確認したことから、3/18 10:02～15:41に海洋への排水、排水量は824m³。
- ・一時貯水タンクGの当社および第三者機関による分析結果[採取日 3/13]は同等の値であり、共に運用目標値を満足していることを確認したことから、3/19 10:07～16:04に海洋への排水、排水量は867m³。
- ・一時貯水タンクAの当社および第三者機関による分析結果[採取日 3/14]は同等の値であり、共に運用目標値を満足していることを確認したことから、3/20 9:56～15:37に海洋への排水、排水量は830m³。

【地下水バイパスの状況】

- ・地下水バイパス揚水井 No.1～12のサンプリングを継続実施中。
- ・地下水バイパス一時貯留タンクグループ2の当社および第三者機関による分析結果[採取日 3/9]については、共に運用目標値を満足していることを確認したことから、3/22 10:14～海洋への排水を実施。

【1～3号機放水路の状況】

1～3号機放水路については、1号機放水路上流側立坑および2号機放水路立坑において、セシウム137の濃度が上昇したことから定期的に水質調査を実施。

<最新のサンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【構内側溝に敷設されている耐圧ホースからの漏えいについて】

<K排水路排水口のサンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【H4、H6エリアタンク周辺観測孔(周辺排水路含む)の状況、タンクパトロール結果関連】

<H4・H6エリア周辺、福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【タービン建屋東側の地下水調査/対策工事の実施状況】

<地下水観測孔・海水サンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績】

- ・3/1に採取した地下貯水槽 No.1周辺の観測孔A11～17の地下水を分析した結果、前回値(2/2採取)の全ベータ放射能がND(ND値 22Bq/L)であったのに対し、最大で200Bq/Lに上昇していることを確認。なお、当該観測孔は3年前に地下貯水槽からの漏えいが確認された以降、NDだったが、全ベータ放射能の上昇が確認されたことから、漏えいの可能性も含めて調査を実施していく。

<最新のサンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。引き続き監視を強化するとともに全ベータ放射能が上昇した原因を調査していく。

以上